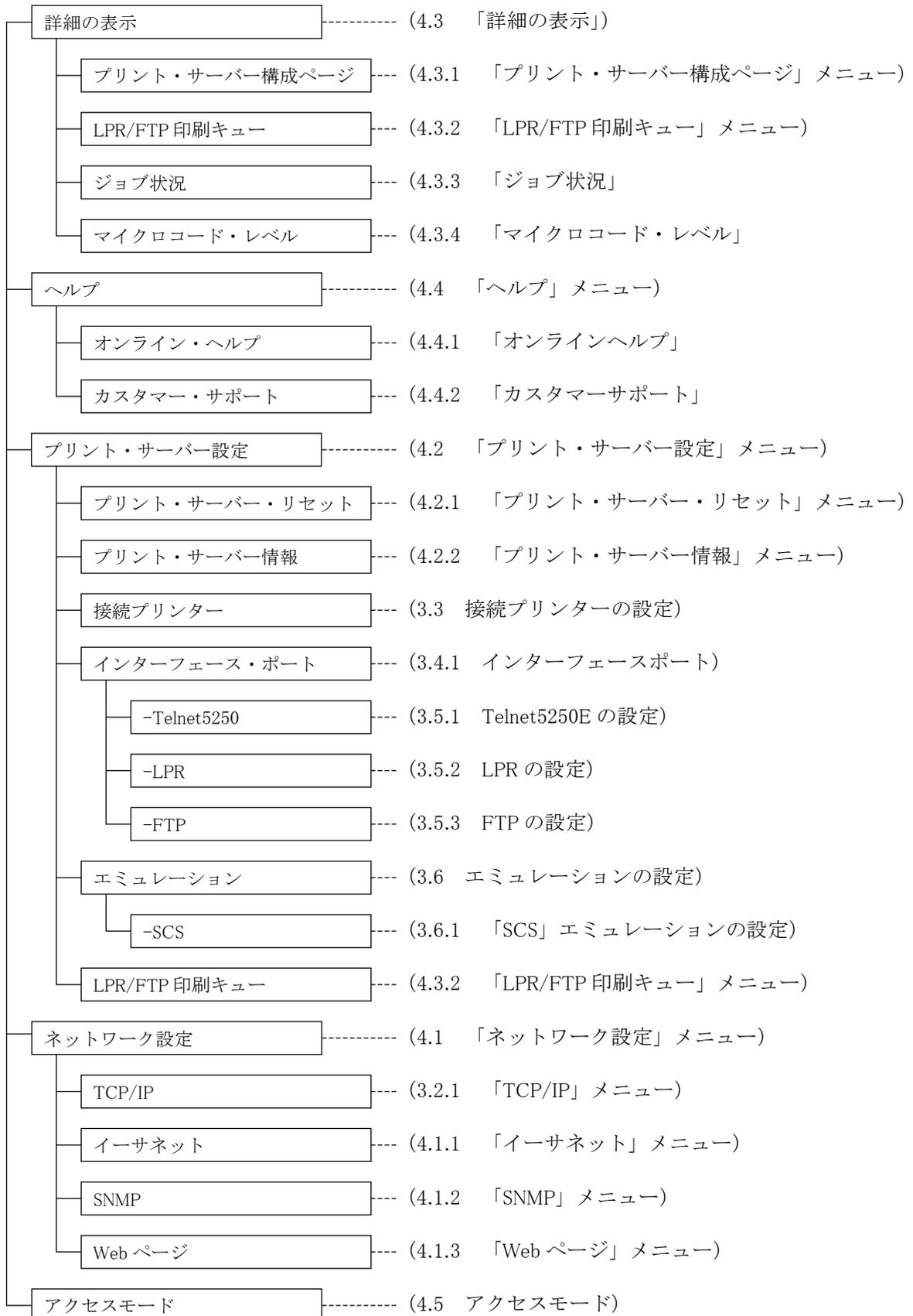


## 第4章 詳細設定

5400 エミュレーターIIの Web ページメニュー構成と、これまでに、解説されていない項目について説明します。



## 4.1 「ネットワーク設定」メニュー

「ネットワーク設定」の文字をクリックすると、「TCP/IP」、「イーサネット」、「SNMP」、「Web ページ」のメニューが表示されます。「TCP/IP」メニューについては、「3.2.1 「TCP/IP」メニュー」を参照してください。「イーサネット」、「SNMP」、「Web ページ」メニューについて説明します。

### 4.1.1 「イーサネット」メニュー

「イーサネット」の文字をクリックすると表示されます。

- MAC アドレス

5400 エミュレーター II の MAC アドレスです。5400 エミュレーター II のシリアル番号と同一です。

- MTU サイズ

最大伝送単位 (MTU) - IP パケットの許容される最大長 (バイト) を指定します。MTU サイズを指定できます。

値	60-1500
初期値	1500



## 4.1.2 「SNMP」メニュー

「SNMP」の文字をクリックすると表示されます。

- システム名\*

これはシステム（印刷装置）に割り当てられる固有な名前です。最大 48 文字の英数字で指定します。

長さ	最大 48 文字
値	A-Z、a-z、0-9、.、-、/、@、#、\$

- システム設置場所\*

これはシステム（印刷装置）設置場所を指定します。最大 48 文字の英数字で指定します。

長さ	最大 48 文字
値	A-Z、a-z、0-9、.、-、/、@、#、\$

- システム管理者\*

これはシステム（印刷装置）管理者を指定します。最大 48 文字の英数字で指定します。

長さ	最大 48 文字
値	A-Z、a-z、0-9、.、-、/、@、#、\$

- トラップ IP アドレス\*

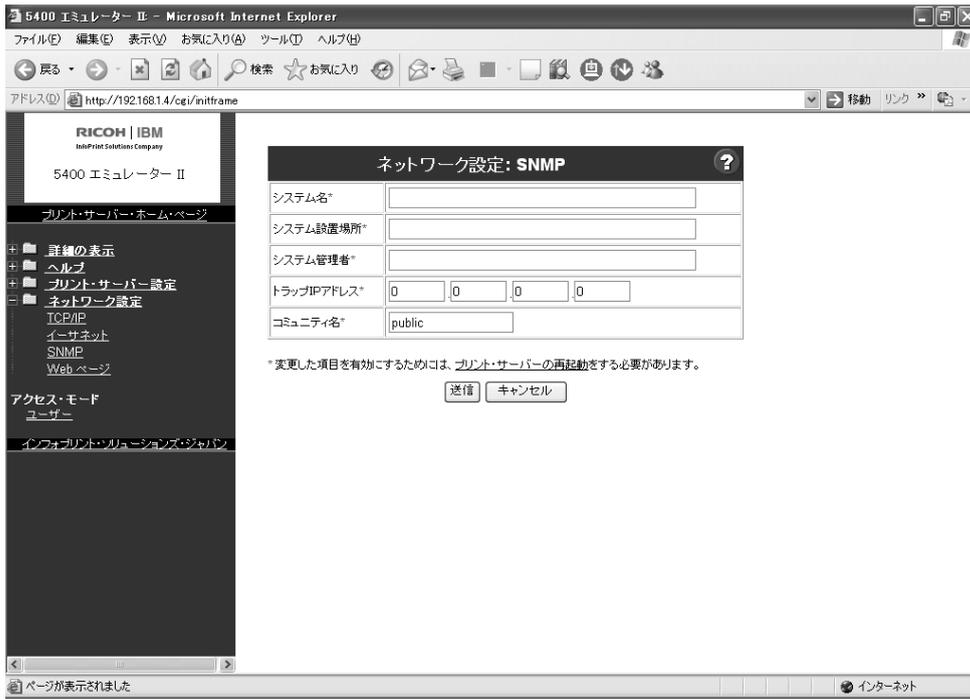
トラップの送信先 IP アドレスを小数点付きの 10 進数で指定します。未指定の場合は、送信動作を行いません。送信されるトラップパケットは“ColdBoot”（電源投入）のみです。

長さ	4 フィールド
形式	n.n.n.n
値	0 - 255
例	9.99.99.253

- コミュニティ名\*

これはコミュニティ名を指定します。最大 16 文字の英数字で指定します。

長さ	最大 16 文字
初期値	public
値	A-Z、a-z、0-9、.、-、/、@、#、\$



### 4.1.3 「Web ページ」メニュー

「Web ページ」の文字をクリックすると表示されます。

- ヘルプ・デスク

名前や電話番号や Web サイトのようなローカルなサポート情報を設定します。インターネットアドレスを入力する時には、“http://”を忘れずに入力してください。この情報は、「ヘルプ」の下にある「カスタマー・サポート」ページに表示されます。

プリンターの管理者名や設置場所を入力するには、「SNMP」をクリックしてください。

- Web ページ管理者 ID

Web ページの管理者モードに入るための管理者のユーザーID を指定してください。初期ユーザーID は“admin”です。

長さ	1-8 文字
初期値	Admin

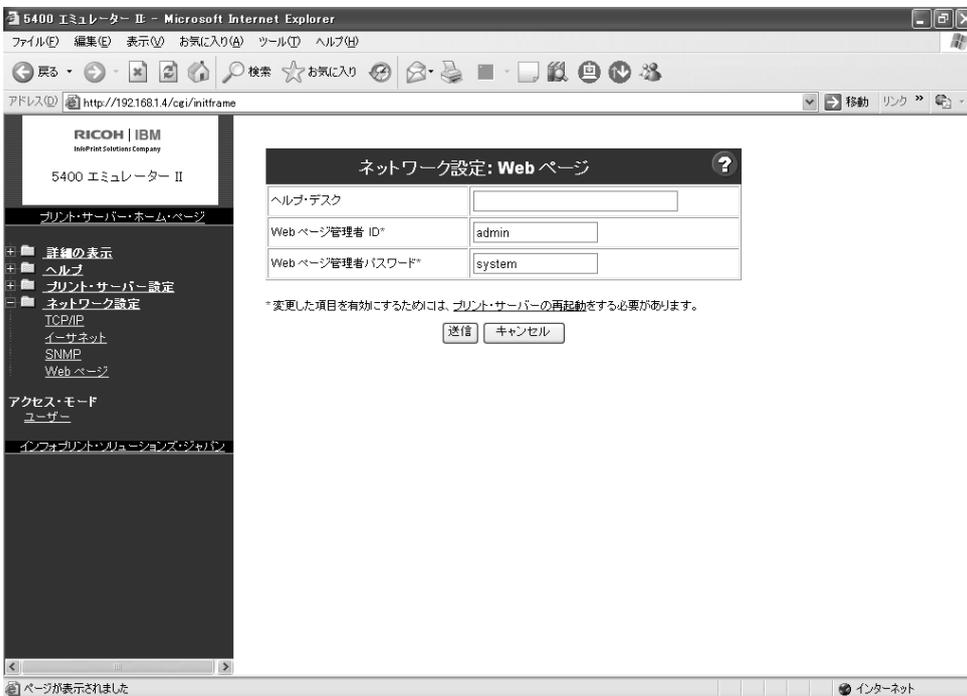
- Web ページ管理者パスワード

Web ページの管理者モードに入るための管理者のパスワードを指定してください。初期パスワードは“system”です。

長さ	1-8 文字
初期値	System

#### システム管理者の方へ

管理者の初期ユーザーID は“admin”、パスワードは“system”です。システムを管理される方は、「管理者」メニューから「ネットワーク設定」「Web ページ」を順に選択して、初期ユーザーID および初期パスワードを変更することをお奨めします。



## 4.2 「プリント・サーバー設定」メニュー

「詳細の表示」メニューからは、以下のページが表示できます。

### 4.2.1 「プリント・サーバー・リセット」メニュー

「プリント・サーバー・リセット」の文字をクリックすると表示されます。

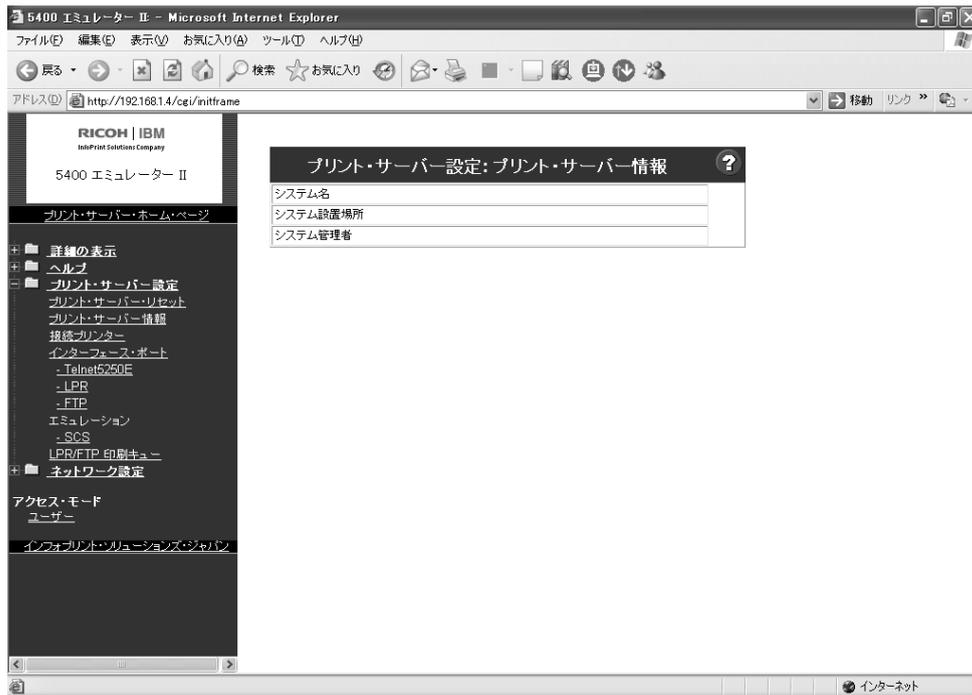
- プリント・サーバーを再起動する  
プリント・サーバーを再起動します。
- プリント・サーバーを再起動し、初期設定値を工場出荷時の値にする  
プリント・サーバー再起動し、初期設定値を工場出荷時の値にします。インターフェース・ポートの値と、ネットワーク設定はリセットされません。  
必要なときに、設定値を元に戻す事ができるように、プリント・サーバー構成ページを印刷することをお奨めします。
- プリント・サーバーを再起動し、ネットワーク設定を工場出荷時の値にする  
プリント・サーバーを再起動し、ネットワーク設定値を工場出荷時の値にします。ネットワーク設定以外の初期設定値はリセットされません。  
必要なときに、設定値を元に戻す事ができるように、プリント・サーバー構成ページを印刷することをお奨めします。



## 4.2.2 「プリント・サーバー情報」メニュー

「プリント・サーバー情報」の文字をクリックすると表示されます。

- システム名  
プリンターの名前・管理者の名前等が表示されます。
- システム設置場所  
プリント・サーバーの設置場所が表示されます。
- システム管理者  
プリント・サーバーの使用者が、プリント・サーバープリンターについての援助が欲しいときの連絡先が表示されます。



## 4.2.3 「LPR/FTP 印刷キュー」メニュー

「LPR/FTP 印刷キュー」の文字をクリックすると表示されます。

- 印刷キュー名

印刷キューの設定を行うキューを選択します。5577 データストリーム印刷キューと、ESC/P 印刷キューが選択できます。

- 印刷キュー詳細

印刷キュー毎に、印刷データの先頭に付加するコマンドをヘッダー用コマンドにて、印刷データの後に付加するコマンドをトレーラー用コマンドにて設定することが出来ます。ここで、コマンドを付加すると、行ピッチ・文字ピッチ等を印刷キュー毎に設定することが出来ます。

また、行端に改行・復帰が付加されないシステムからの印刷を行う場合には、LF を CR+LF に変換、CR を CR+LF に変換が出来ます。また、ファイル終端に FF (改ページ) を付加する事も出来ます。

- ヘッダー用コマンド

印刷データの前に付加するコマンドを指定します。コマンドは、16 進データをテキストにて入力します。例えば、改行ピッチに 2LPI を指定：“1B7E03000114”。128 文字まで入力できます。

- 改行・末端処理

LF (LineFeed) コマンドを CR (CarriageReturn) + LF (LineFeed) に変換、CR (CarriageReturn) コマンドを CR (CarriageReturn) + LF (LineFeed) に変換、ファイル終端に FF (FormFeed) コマンドを追加する事が出来ます。各処理を行う場合には、チェックボックスをチェックします。LF 変換と CR 変換は同時に選択する事は出来ません。

- トレーラー用コマンド

印刷データの後に付加するコマンドを指定します。コマンドは、16 進データをテキストにて入力します。末端処理 (データの最後に FF を付加する) が指定されている場合、FF を付加した後に、ここで指定したコマンドを付加します。128 文字まで入力できます。



## 4.3 「詳細の表示」

「詳細の表示」の文字をクリックすると、「プリント・サーバー構成ページ」、「LPR/FTP 印刷キュー」、「ジョブ状況」、「マイクロコード・レベル」メニューが表示されます。

### 4.3.1 「プリント・サーバー構成ページ」メニュー

「プリント・サーバー構成ページ」の文字をクリックすると、5400 エミュレーター II の全設定が表示されます。

The screenshot shows a web browser window displaying the configuration page for the Ricoh IBM 5400 Emulator II. The page title is "5400 エミュレーター II プリント・サーバー構成ページ". The left sidebar contains a navigation menu with the following items: "詳細の表示", "プリント・サーバー構成ページ", "LPR/FTP 印刷キュー", "ジョブ状況", "マイクロコード・レベル", "ヘルプ", "プリント・サーバー設定", "ネットワーク設定", "アクセス・モード", "ユーザー", and "インフォプリントコミュニケーションズジャパン". The main content area is divided into several sections:

- 初期設定値**: A table of initial settings for the printer and interface.
- Telnet5250E 設定**: Configuration for the Telnet5250E interface.
- デバイス設定1**: Configuration for the printer device.
- マイクロコード・レベル**: A table of microcode levels for various components.

項目	値
接続プリンター	ページ・プリンター
インターフェース・ポート	Telnet5250E
インターフェース切り換えタイムアウト (秒)	5

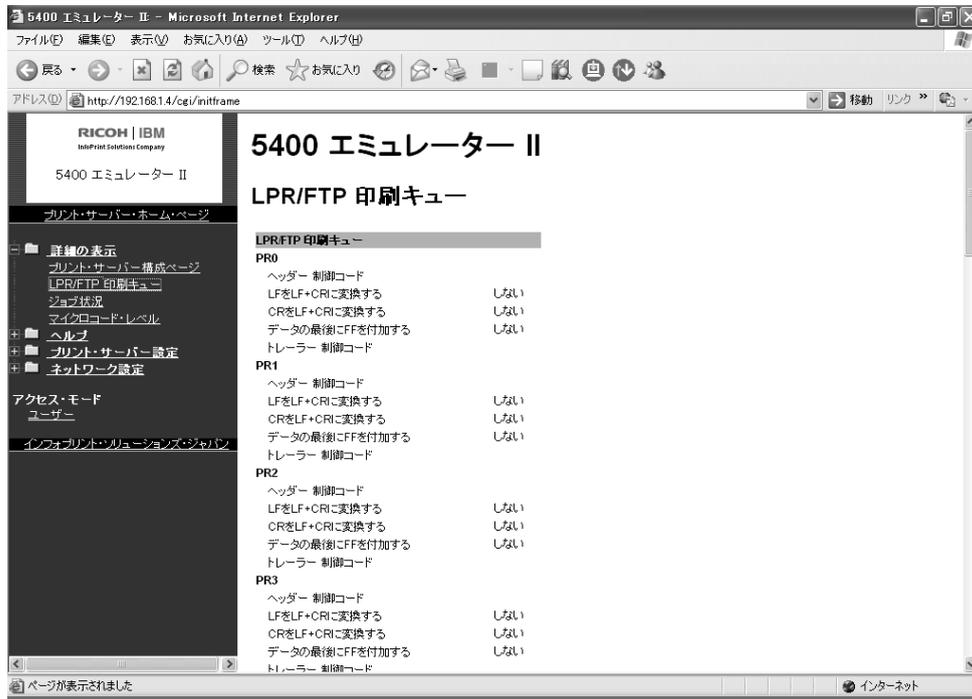
項目	レベル
プリント・サーバー・マイクロコード・レベル	3.02.00
BIOS マイクロコード・レベル	1.03
CPLD リビジョン・レベル	25
CF リビジョン・レベル	R19

項目	値
ホスト選択	ホストIP アドレス 1
ホストIP アドレス 1	0.0.0.0
ホストIP アドレス 2	0.0.0.0
ポート番号	23
IGMP フィーチャー	なし
受信バッファ	標準
パワー・オン自動印刷	オン(5分)
ホスト接続監視	はい

項目	値
デバイス1	有効
デバイス名	
印刷倍率設定	100%
トレイ選択	トレイ1
原稿方向	縦
両面印刷	オフ
左余白	0
上余白	0

## 4.3.2 「LPR/FTP 印刷キュー」メニュー

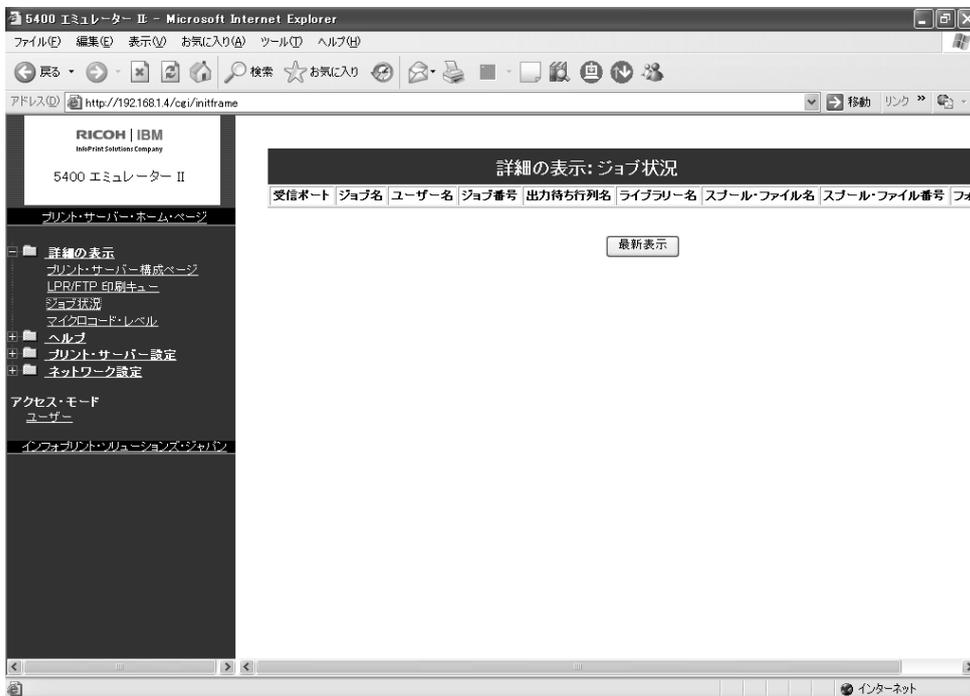
「LPR/FTP 印刷キュー」の文字をクリックすると、LPR/FTP 印刷で使用するキューの設定が表示されます。



### 4.3.3 「ジョブ状況」メニュー

「ジョブ状況」の文字をクリックすると、現在の、または最近印刷したジョブの受信ポート、ジョブ名、ユーザー名などを表示します。

- 受信ポート - どのインターフェースを経由して印刷されたかを表示します。
- ジョブ名 - 印刷されたファイルに関連したジョブ名を表示します。
- ユーザー名 - 印刷されたファイルに関連したユーザー名を表示します。
- ジョブ番号 - 印刷されたファイルに関連したジョブ番号を表示します。
- 出力待ち行列名 - 出力待ち行列名を表示します。
- ライブラリー名 - 出力待ち行列で指定されたライブラリー名を表示します。
- スプール・ファイル名 - 印刷されたファイルに関連したスプール・ファイル名を表示します。
- スプール・ファイル番号 - 印刷されたファイルに関連したスプール・ファイル名を表示します。
- フォーム名 - 印刷されたファイルに関連したフォーム名を表示します。



#### 4.3.4 「マイクロコード・レベル」メニュー

「マイクロコード・レベル」の文字をクリックすると、以下の情報が表示されます。

プリンター・マイクロコード・レベル

最新のプリンター・マイクロコード・レベルのバージョンを表示します。

BIOS マイクロコード・レベル

最新の BIOS マイクロコード・レベルのバージョンを表示します。

CPLD リビジョン・レベル

最新の CPLD リビジョン・レベルを表示します。

CF リビジョン・レベル

最新の CF リビジョン・レベルを表示します。

詳細の表示: マイクロコード・レベル	
プリント・サーバー・マイクロコード・レベル	3.02.00
BIOS マイクロコード・レベル	1.03
CPLD リビジョン・レベル	25
CF リビジョン・レベル	R19

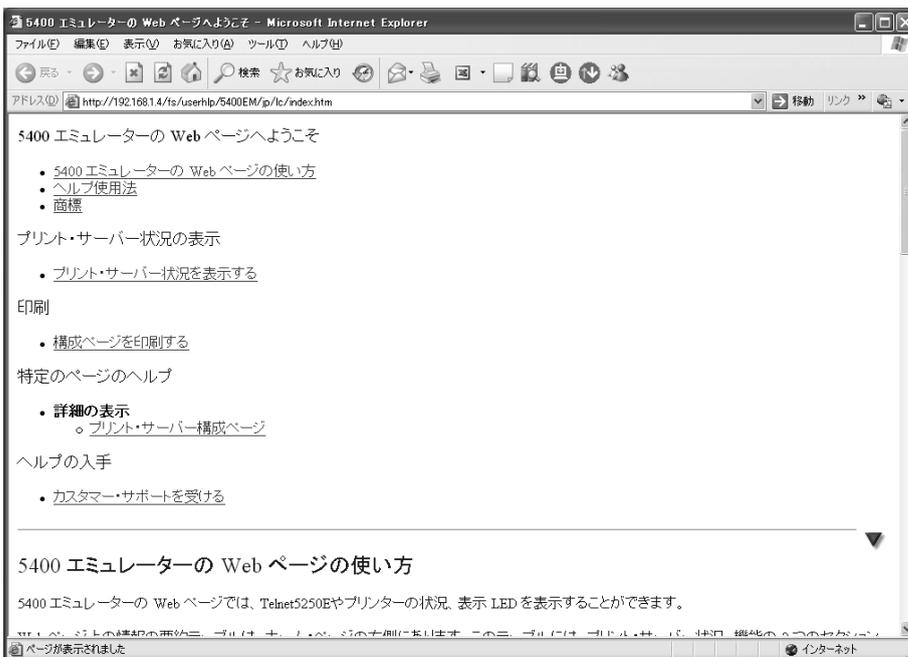
## 4.4 「ヘルプ」メニュー

「ヘルプ」メニューからは、以下のページが表示できます。

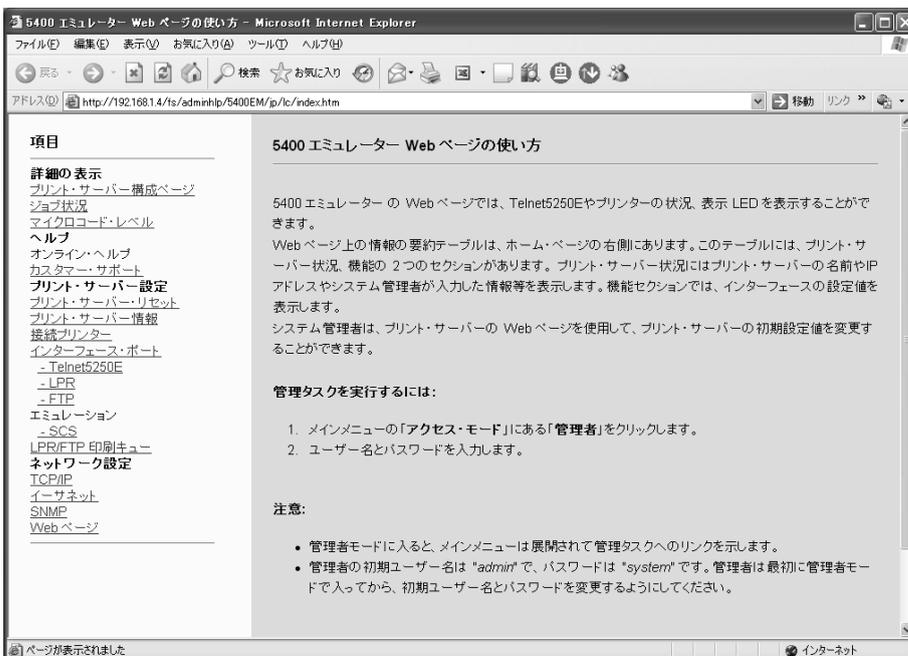
### 4.4.1 「オンラインヘルプ」メニュー

「オンラインヘルプ」の文字をクリックすると、各メニュー・ページのヘルプ情報を表示できます。画面左側の項目文字もしくは、画面矢印をクリックして、表示項目を変更できます。

[ユーザー用画面]

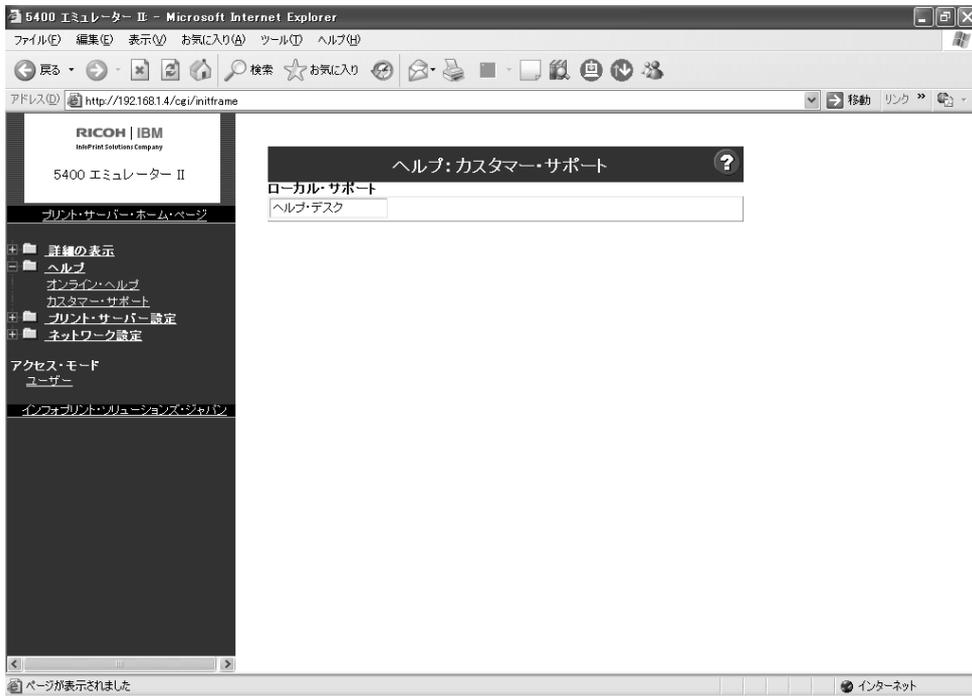


[管理者用画面]



## 4.4.2 「カスタマーサポート」メニュー

「カスタマーサポート」の文字をクリックすると、5400 エミュレーター II のお問合せ先が表示されます。



## 4.5 アクセスモード

アクセスモードの下に、現在プリンターに接続しているアクセスモードとは別のアクセスモードが表示されます。「管理者」で接続している場合には「ユーザー」、「ユーザー」で接続している場合には「管理者」と表示されます。管理者で接続する場合には、「管理者 ID」「管理者パスワード」を入力する必要があります。変更の方法は、“4.1.2 「Web ページ」メニュー”を参照してください。